

< 会員増強委員会 >



委員長(理事) 柄 博治

昨年度、会員増強は花柳委員長、佐々木リーダーのもと順調に進められ、ここ数年の目標であった会員数 100 名以上になりました。

今年度も会員増強・職業分類担当大井リーダー、ロータリー情報担当脇舩リーダーを中心に計画案に基づき会員増強には努めますが、今年度はさらに今までの会員増強の努力を無にしないためにも会員資質の強化、退会防止に力を入れなければなりません。この仕事を達成するためには、私たちの委員会はもとより各委員会がそれぞれに活発な活動を行い会員同士の親睦を深め緊密な信頼関係を築くことが、退会防止につながりさらには会員の資質の強化につながるものと考えます。

会員全員のご理解とご協力を得て、最善の結果をもって次年度に引き継げるよう努力してまいりますのでよろしくお願いします。

会員増強・職業分類担当



リーダー：大井 克元

副リーダー：山 下 泉

(方 針)

クラブの活力の源である会員数の増強に会員全員で臨む態勢を整え取り組んでまいります。また、現状の職業分類を整理し、当クラブで会員のいない職業分類の会員増強を図り多様性を高める事に取り組めます。量と質においてよりバランスの取れたクラブを目指し努力致します。

(計 画)

1. 前年度末の会員数から5名以上の会員数純増を目指します。
2. RI会長賞達成項目のうち、会員増強に関わる
 - 1) 会員数純増2名
 - 2) 女性会員数純増2名
 - 3) 40歳未満会員純増2名の3項目につき2項目以上の達成を目指します。
3. 会員数の増強を推進すると同時に、職業分類を整理し、未入会の職業分類への会員増強を強化し、職業分類においてよりバランスの取れた構成となるよう取り組めます。
4. 年間複数回のインフォーマルミーティングを開催し、年度中の会員増強の進捗を確認、年度末に向け目標達成を確実なものにします。
5. 退会防止は何よりクラブへの帰属意識の高まりが必要と考えます。
それにはホーム例会への出席、例会出席時の会員相互の親睦が不可欠です。
ホーム例会出席の重要性を強調して行きます。

(予 算)

300,000円

ロータリー情報担当



リーダー：脇舩 賢治

副リーダー：久保 和浩

(方 針)

会員、特に新会員に対してロータリーを理解していただくように、わかりやすく情報を提供する。

全会員にロータリーの歴史、理念、活動等について適切な情報を提供するように努める。

(計 画)

1. 会員候補者にロータリーを理解していただくためにロータリーの情報を提供する場を設ける。

それにあたって、今までの例会の前後に開催していたのを、会長他、担当会員の出席しやすい夜間に開催する。

2. 会員に例会又は週報などでロータリーに関する情報を提供する。

3. 特に入会3年未満の会員については、ロータリーの各種会合に積極的に参加するよう勧奨する

(予 算)

100,000円

＜クラブ管理運営委員会＞



委員長(理事) 田上 克彦

二度目の管理運営委員会を担当します。宜しくお願いします。

本年度の会長方針は『ロータリーを楽しみましょう！そして少し変えてみましょう!』です。クラブ管理運営委員会はロータリーを楽しむ為の中枢の委員会です。各リーダー、副リーダーを中心に会員の皆様に楽しんでいただける例会、親睦事業を企画、運営して参ります。各リーダー、委員の皆様には過去の延長戦上に未来を描くのではなく、英知と勇気で新しい事業にチャレンジしていただきたいと思います。一年間宜しくお願いします。

出席担当



リーダー：岩田 久夫

副リーダー：小杉 真澄

（方 針）

広島東南ロータリークラブ会員の全会員が例会に出席することを目指します。
その為に全会員が出席しやすい環境をつくっていききたい。

（計 画）

1. 他の委員会と連携を図り、出席しやすい環境をつくる。
2. 例会時に出席報告をし、例会出席への関心を図る。
3. クラブ会報に出席報告を記載する。
4. 連続出席者を報告し記念品の贈呈を行いその労を讃える。
5. ホームクラブに出席できない時は、他のクラブへのメイクアップの参加を勧める。

（予 算）

270,000円

プログラム担当



リーダー：要田 昭治

副リーダー：赤川 浩二

（方 針）

年間を通して魅力ある例会を開催いたします。

※会長方針「ロータリーを楽しみましょう。そして、少し変えてみましょう。」
を实践します。

（計 画）

1. ロータリーの月間テーマに沿ったプログラムを実施します。
2. 新入会員の方からの卓話、各界で活躍されているゲストを招いて卓話をお願いします。

（予 算）

400,000円

親睦担当



リーダー：早田 良二

副リーダー：尾立 道泰

(方 針)

会長方針である『ロータリーを楽しみましょう！そして、少し変えてみましょう！』を念頭に、会員同士の絆をより深めるために、より楽しむために今年は少しだけチャレンジします。

(計 画)

1. 例会受付

ビジター歓迎

出席カード捺印

ビジター紹介

2. 親睦行事

夏の新会員歓迎会 (夜間例会：2017年 7月24日)

花火大会 (呉花火：2017年 7月29日)

支店長会員を囲む会 (松茸の会：2017年10月)

クリスマス家族例会 (夜間例会：2017年12月25日)

冬の新会員歓迎会 (夜間例会：2018年 1月22日)

支店長会員を囲む会 (河豚の会：2018年 2月)

PHRC 歓迎花見会 (家族会：2018年 4月)

カープ観戦 (家族会：2018年 4月～6月)

最終例会 (夜間例会：2018年 6月25日)

3. 記念品贈呈

4. 各委員会活動への参加

5. 同好会活動への協力

6. クラブ内慶弔への支援

7. 新会員のロータリー情報夜間実施に伴う歓迎会開催

(会員増強×ロータリー情報×親睦のコラボ企画)

(予 算)

4, 500, 000円

<広報・記録委員会>



委員長(理事) 錦織 亮雄

広報・記録委員会は「クラブ内の情報伝達」(Information)「クラブの諸活動の記録保存」(Documentation)「社会への広報」(Public relations)を担っています。これら3点についてこれまでの活動を洗い直し、より充実するよう活動して参ります。

特に「社会への広報」については、「公共イメージと認知度の向上」として「ロータリー戦略計画」の優先事項とされています。このことは、ロータリーの公共社会での在り方についての研究を伴うものです。

広報・記録のあり方について、クラブ会員全体の関心を引き起こしながら充実した活動をしたいと計画しています。

クラブ会報・資料保存担当



リーダー：江角 優

副リーダー：杉山 顕彦

(方 針)

1. クラブ会報（週報）を作成し、会員に対して、例会を通じ、前回及び当日例会の行事内容・各種行事予定等を周知する。
2. 当クラブの事業内容や諸活動を会員周知し関心を高める事により、会員相互の親睦の増進、ロータリー教育及びクラブの活性化に寄与する。
3. 当クラブの事業内容を記録するため、クラブ会報及び関連資料データ等を整理し保存・管理する。

(計 画)

1. クラブ会報に、R I 会長テーマ“ロータリー：変化をもたらす”を反映させる。
2. 伊藤会長のテーマである“ロータリーを楽しみましょう！そして少し変えてみましょう！”をクラブ会報へ反映することとし、会員が実践している諸活動を幅広く紹介していくとともに、会員からの情報発信コーナーの新設など、今年度、少し変えた紙面づくりを目指す。
3. 例会及び各種行事等での写真撮影など各種データを入手記録する。
4. 卓話等を担当される方へ事前に原稿依頼し、卓話等の内容の文字情報化、記録、共有化を図る。
5. 活動情報の発信・インターネット公開(H P)を進めるべく、各種情報とH P編集連携におけるプロトコルの整理・標準化に努める。
6. クラブ会報(週報)の編集内容等を事前に確認・校正する。

(予 算)

400,000円

雑誌担当



リーダー：中畝 將博

副リーダー：福岡 功市

(方 針)

月刊誌「ロータリーの友」を全会員に熟読していただき、ロータリー活動の国内外の状況を把握したり、活動体験記・随筆などに触れながら、ロータリー活動の意義を会員全員で考えていただく機会をつくる。また広島東南ロータリークラブの活動を「ロータリーの友」を通じて発信する。

(計 画)

1. 2017 年 7 月号～ 2018 年 6 月号を各号ごとに指名させていただき、第 1 例会時に雑誌を配布し、指名された会員は興味を持った記事 の紹介や感想を 600 字程度にまとめ、翌週の水曜日までに事務局 に提出する。未提出の会員には寄稿を粘り強くお願いする。
2. 提出された抄録は第 3 例会の週報に掲載する。
3. 「ロータリーの友」を各種団体に寄贈し、ロータリークラブへ の関心と理解を深めていただく。
4. 主に広報担当と連携し、広島東南ロータリークラブの活動について「ロータリーの友」への掲載を目指す。

(予 算)

40,000 円

広報担当



リーダー：中村 伸弘

副リーダー：佐々木 誠

（方 針）

伊藤会長並びに錦織委員長の方針に従い、ロータリーの広報の原点である「Public relations」と戦略計画の「公共イメージと認知度の向上」を目指して活動する。

（計 画）

1. クラブホームページの刷新
2. 県並びに市の記者クラブへのプレスリリースの検討

（予 算）

1, 5 0 0, 0 0 0 円

＜奉仕プロジェクト委員会＞



委員長(理事) 古本 由美

伊藤会長の方針『ロータリーを楽しみましょう！そして少し変えてみましょう！』（地域社会・国際社会に貢献する奉仕活動に積極的に参加し、ロータリーの精神に共感する新しい仲間を迎え入れましょう。）（多様性に富んだ時代にアジャストするよう、少しずつの変化が必要です。）

その通年経常目標である、経営研究会の充実継続、地域社会の社会的弱者への奉仕活動の継続、パールハーバー RC・台中 RC 姉妹関係を緊密にし、共同奉仕プロジェクトの適宜実施、を各リーダーの事業計画に基づいて推進して参ります。

東南ロータリークラブの皆様と楽しく参加出来る奉仕プロジェクトを目指します。

1. 職業奉仕・経営研究

職場訪問例会、優良従業員表彰の実施。

楽しく学ぶ経営研究会の実施

2. 社会奉仕

東日本震災被災地支援として、スポットライト等機材の寄贈（地区補助金活用事業）

広島市立広島支援特別学校への吸引器等寄贈

柏の実苑クリスマス会支援

広島いのちの電話・子供虐待ホットライン広島支援

パールハーバー記念樹周辺の早朝清掃継続

3. 青少年奉仕

インターアクトクラブの活動支援

子育て世代への支援、青少年教育に関する事業支援

4. 国際奉仕・姉妹クラブ

パールハーバー RC・台中 RC の来広に際しての企画立案。交流の企画立案

職業奉仕・経営研究担当



リーダー：成宮 正和

副リーダー：山西 裕司

（方 針）

伊藤会長の掲げる方針である「ロータリーを楽しみましょう！そして少し変えてみましょう！」に基づき「職業奉仕」「経営研究会」において、以下の事業を行っていきます。

（計 画）

1. 職業奉仕

- ①会員企業またはその他の企業を対象として職場訪問例会を実施する
- ②会員企業及び地域社会に貢献された優良従業員の表彰を行う

2. 経営研究会

「経営」というテーマから色々な角度で会員の皆様に楽しく学んでいただける企画を立案します

- ①多様な分野のプロフェッショナルを招聘し経営・倫理などに関する勉強会を実施する
- ②経営・倫理などに関する会員の経験談、人生哲学、経営哲学などについての卓話、講演会を実施する

（予 算）

400,000円

社会奉仕担当



リーダー：井原 倫子

副リーダー：生谷 武寛

(方 針)

今年度の RI テーマは「変化をもたらす」であります。そして会長の方針「ロータリーを楽しみましょう！そして、少し変えてみましょう！」はまさに私達広島東南ロータリークラブの家族的な温かさに溢れた雰囲気の中で実践できます。未来に繋がる大切な1年として社会奉仕活動をして参ります。

(計 画)

1. 東日本震災被災地支援として（地区補助金活用事業）

過去4年間の被災地支援並びに仙台南 RC との協力関係を継続するために、最も被害の大きかった地区の一つである南三陸町の志津川中学校から要望のあった、スポットライト等機材の支援を、地区補助金を活用して行う。過去4年間と同様、被爆地広島復興のシンボルであり平和のシンボルとして被ばく樹木の苗を合わせて寄贈する。（地区補助金 15 万円、クラブ資金 16.3 万円）

2. 広島市立広島特別支援学校への吸引器等寄贈

地元地域社会への活動として、通年経常の目標にの観点から、子供と高齢者への奉仕活動という中心目標に沿ったものとして、特別支援学校への支援を行う。重度障害児の児童が近年倍増した支援学校においては、重要度、緊急性の高いものである、吸引器、吸入器を支援する。（予算約 37 万円）

3. 柏の実苑のクリスマス会参加の継続

4. 社会福祉活動団体などへの支援

- ・広島いのちの電話
- ・子供虐待ホットライン広島

5. 早朝清掃の継続（パールハーバー記念樹周辺）

(予 算)

800,000 円

青少年奉仕担当



リーダー：上田 康博

副リーダー：渡辺 敬治

(方 針)

今年度の RI 会長は「ロータリーは奉仕を通じて人々の人生をより良くし変化をもたらすことができる」と述べられております。

長い目で見て社会に健全かつより大きな変化をもたらすためには、将来を担う若い世代とともに奉仕の精神を学ぶことや、子育て世代の方々への支援を行うはとても重要なことだと考えます。 青少年奉仕担当のメンバーはインターアクトクラブの生徒と共に様々な活動を行うこと等を通じて、青少年の健全な育成に貢献していきたいと思ひます。

(計 画)

1. 広島商業高等学校インターアクトクラブの活動支援

- (1) 青少年育成活動として、高校の協力を得ながら生徒主体の社会奉仕活動の支援を行う。
- (2) 毎月のインターアクトクラブ例会に出席して有意義なクラブ活動への助言を行い、会員増強の策も話し合う。
- (3) インターアクトクラブ地区大会、研修会へ参加し研鑽を重ねるとともに他校との情報交換に努める。
- (4) ボランティア活動についての社会的意義と方法論について生徒たちと共に考える。
- (5) 地区韓国研修などに高校生が参加し国際性を身につける。

2. 子育て世代への支援、青少年教育に関する事業支援を行う。

子育て世代と子供との共育活動など。

(予 算)

5 0 0 , 0 0 0 円

国際奉仕・姉妹クラブ担当



リーダー：武士末 修

副リーダー：森原 弘昌

(方 針)

これまでの当委員会、国際奉仕・姉妹クラブの活動の継続をベースにしながらも新しい取り組みを取り入れながら事業を推進していきます。

国際奉仕としては目的、意義や価値のある永続的なプロジェクトの検討、準備、活動をしていきたいと思えます。またその中でグローバル補助金の対象となり実行していく事業があれば申請に向かった動きをしていきます。

姉妹クラブとしては台中 R C、パールハーバー R C 来広に際してメンバーの皆様の協力のもと、充実した内容で、広島東南 R C メンバー、家族との交流がはかれ、来広して良かったと思って頂ける様務めて参ります。

皆様のご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(計 画)

姉妹クラブである台中 R C、パールハーバー R C 来広に際しての企画立案。

交流の企画立案。

【参 考】姉妹縁組クラブとの最近の交流歴

2008 年 11 月：台中 R C 表敬訪問
2009 年 06 月：【中止】PHRC 表敬訪問
2010 年 01 月：東南 R C 創立 50 周年 PHRC・台中 R C 来広
2010 年 05 月：台中 R C 創立 55 周年表敬訪問
2011 年 02 月：PHRC 表敬訪問
2012 年 04 月：PHRC 来広
2013 年 02 月：PHRC 表敬訪問
2014 年 03 月：PHRC 来広
2014 年 09 月：PHRC 表敬訪問
2015 年 05 月：台中 R C 創立 60 周年表敬訪問
2016 年 04 月：PHRC 来広
2016 年 09 月：PHRC 表敬訪問

(予 算)

8 0 0 , 0 0 0 円

＜財団関連活動委員会＞



委員長(理事) 衣笠 准一

ロータリー財団は、より良い世界を築こうというビジョンを共有する支援者の寄付で支えられています。米山記念奨学会は、将来の日本と世界を結ぶ架け橋となる人材を育成する国際奨学事業です。

財団関連活動委員会はロータリー財団、米山記念奨学会への支援を前年度に引き続き行い、地区の寄付目標を達成するよう努めます。

2017-18 年度地区補助金プロジェクトの事業を支援します。

奉仕プロジェクト委員会と協力してグローバル補助金プロジェクトについて調査・研究を開始します。

ロータリー財団と米山記念奨学会をより一層理解頂けるよう、例会プログラムで卓話を実施します。

ロータリー財団担当



リーダー：胡 定晃

副リーダー：今井 廣志

(方 針)

ロータリー財団の仕組み、役割、活動実績等を多くの会員に理解してもらい年次基金、恒久基金の協力をお願いする。

地区補助金を活用した事業計画を実施する。

(計 画)

○ロータリー財団への支援

ポリオプラス目標 35 ドル/1 人

年次基金 目標 150 ドル/1 人

恒久基金 目標ベネファクター 1 人

ロータリーカードの協力

1. ポリオプラスの達成に向け 100 万ドルの食事を実施する。 8 回/年
2. ポールハリスフェロー、マルチプルへの寄付を勧誘し、年次基金の目標を達成する。(7 人以上)
3. ベネファクターの勧誘を行う。(1 人以上)
4. ロータリーカードの普及に向けて呼び掛けを行う。
5. ロータリー財団月間に卓話を実施する。

○ロータリー財団地区補助金の活用

「南三陸町立志津川中学校へ、復興支援として、スポットライト 1 台及び付属品を寄贈する」プロジェクトに関し地区補助金事業を支援する。

○グローバル補助金活用の調査・研究

奉仕プロジェクト委員会と協働して調査・研究を開始する。

(予 算)

50,000 円

米山記念奨学会担当



リーダー：守下 康弘

副リーダー：鹿瀬 賢二

(方 針)

今年度 伊藤会長方針である『「-ター-を楽しみましょう！ そして、少し変えてみましょう！』を基に、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給するこの事業を推進・支援する役割を担い、留学生の本国と日本の国際交流と国際理解を楽しみながら、親善の向上を図る。また、会員及び会員外の寄付金を勧奨する。

(計 画)

1. 米山記念奨学会への理解と支援
 - ・ 寄付目標 16,000 円以上/1 人
 - ・ 特別寄付への協力
2. 奨学生の受入れ支援
3. 世話クラブ、カウンセラーへの支援
4. 奨学生、学友との交流
 - (ホームカミング制度の活用、米山親善大使の活用等)
5. 米山記念奨学会の広報活動として、卓話の実施
 - (10月の米山月間に伴い、プログラムに入れてもらう。)

(予 算)

10,000円

S. A. A.



S. A. A. (理事) 橋本 浩二

本年度の会長方針は『ロータリーを楽しみましょう！そして、少しかえてみましょう！』クラブ運営委員会のなかでS. A. A. は『楽しめる例会』を担う委員会です。

少しかえてみましょうという会長の方針をあらためて考えてみると、S. A. A. がなすべき活動の基本に還り、会員の皆さんがどう感じているかを確認し、新たな要望が見えた時、変える様対応して行こうと思います。

基本的な活動を行いS. A. A. がすべき活動を理解してもらうよう進める。

例会の管理に付いて。

1. 卓話時間の確保
2. 例会場の入退場
3. 遅刻、早退の管理
4. 例会時の私語
5. 例会場のテーブルと席の配置
6. 例会での献立
7. ニコニコ箱の管理と募金

リーダー、副リーダーのもと全員で楽しめる例会を実施して参ります。

会員の皆様のご協力、ご支援を宜しくお願いします。

S. A. A. 支援担当



リーダー：天野 國幹

副リーダー：林 満生

委員：佐野 庸子

木矢 克造

蔦尾健太郎

会 計



会 計(理事)：小松原耕平

(方 針)

会長方針に従い各部門の委員会活動が健全運営されるよう予算編成を行う。

(計 画)

1. クラブの資金管理を正確に実行する。
2. クラブの収支及び財政状況を明確にするため、年2回、中間決算や見込み決算の報告書を作成する。
3. 年度内の予定外活動が発生した場合、弾力的支出を配慮する。